

公共用水域水質測定結果について（2019年度）



環境省は、水質汚濁防止法に基づく測定計画に従って、国及び地方公共団体が実施した2019年度の公共用水域の水質測定結果を取りまとめました。

測定結果では、人の健康の保護に関する環境基準（以下、健康項目）は、ほぼ全ての地点で環境基準を達成していて、生活環境の保全に関する環境基準（以下、生活環境項目）は、河川においてBODはほとんどの水域で環境基準を達成しています。一方、CODと全窒素及び全燐の環境基準達成率は、湖沼において両方とも5割程度、海域においてそれぞれ8割程度と9割程度となっています。湖沼や海域においては、CODやそれと密接に関係のある全窒素および全燐による水質汚濁の改善に努力が必要な状況となっています。

【測定内容】

＜主な測定項目及び測定地点数、検体数等＞

- 健康項目：カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素 など 27 項目
5,318 地点、194,714 検体
- 生活環境項目：BOD、COD、全窒素及び全燐 など 13 項目
3,350 水域、7,072 地点、460,565 検体

【主な測定結果】

対象	分析項目	2019 年度		2018 年度	
		水域数	達成率(%)	水域数	達成率(%)
全て	健康項目	5,318	99.2	5,347	99.1
河川	BOD	2,572	94.1	2,564	94.6
湖沼	COD	188	50.0	188	54.3
	全窒素及び全燐	120	49.2	121	48.8
海域	COD	590	80.5	590	79.2
	全窒素及び全燐	151	91.4	151	92.1

当社では、河川、湖沼等の公共用水域における環境水分析に加え、多くの排水項目の分析についても長年の実績があり、短納期での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談下さい。

資料 [2020年12月25日付 環境省報道発表資料](#)

環境検査箇所 鶴谷佳代

